



「TCC創立30周年にあたって」

TCC パートナー 石山英勝

TCC 創立30周年を迎え、設立当初から関わった一人として皆さんと共に心から喜びたいと思います。

思えば昭和44年中登美団地へ越して来てすぐ登美ガ丘教会(当時はまだ聖堂はなく幼稚園だけだった)を訪れ、グリーン神父様とお会いして以来今日まで教会、TCCと関わってまいりました。

当時グリーン神父様のお考えは、幼児期の子どもにとって父親の存在は非常に大きく、父親が家庭の中心となって子どもの養育にあたるべきだというお考えでした。

父親は単なる会社と家の往復だけではなく、子どもの教育に直接関わり、又地域の人々との関わりを通して地域に何らかの貢献をして欲しいというお考えをお持ちでした。

こうした神父様の信念に基づいて当初設立されたのが「グリーン会」でした。故人となられた川島勝重氏の並々ならぬご尽力により設立され、昭和50年(1975年)からTCCとして引き継がれていきました。

私自身昭和46年から教会信者会会長として設立に関わって以来20年近く、歴代会長のパートナー役を担当させていただきました。

当時の社会の風潮は、父親の殆どが会社人間で地域と関わるという考えは少数派でした。その中であって地域との交流、コミュニケーションの場としてのTCCの存在は異色で非常に珍しいものでした。当時のマスコミもこの点に注目し、いくつかの新聞、ラジオ、テレビで紹介されました。昭和56年にはNHK教育TV「サラリーマンライフ」

社外クラブ活動 というテーマで取り上げられ、テニス部やランニング部が紹介され、私もNHKのスタジオでおしゃべりさせていただいたことが懐かしく思い起こされます。

何はともあれ、当時の社会にあって家庭、地域における父親の存在の必要性を訴えられたグリーン神父様の先見の明にはただただ感服の一語に尽きると思います。

ここに歴代の会長さんのご尽力とメンバーの皆さんのご協力により30周年の記念すべき年を迎えることが出来たのですが、かえすがえすも残念なのはこの席にグリーン神父様がいらっしやらないことです。でも、きっと天国で共に喜んで下さり、お祝いのメッセージを伝えて下さるものと確信いたしております。